



幸手市議会議員
本田ようこ

〒340-0164
幸手市香日向3-10-16
TEL 0480-43-8988
FAX 0480-77-4347
E-mail: mirai@honda-yoko.com
http://www.honda-yoko.com

幸せの手



避難所



緊急避難場所



そこから必要に応じて福祉避難所(二次避難所)へ移る。

もし被災した場合、要介護や病気の有無に関わらず、先ずは最寄りの避難所へ。

幸手市には、**なのはなの里、さくらの里、老人福祉センター**の3ヶ所が指定される。

今年の4月の熊本地震後、難病を患いながら車中泊を続け、家族は難病や障がいのある被災者向けの避難所の存在を知らず、その方は亡くなつた。という記事を目にし、今回の質問に繋がりました。

今年の4月の熊本地震後、難病を患いながら車中泊を続け、家族は難病や障がいのある被災者向けの避難所の存在を知らず、その方は亡くなつた。という記事を目にし、今回の質問に繋がりました。

一般的の避難所では生活が困難な高齢者や障がいを持つ方々などに対して、特別な配慮をする避難所です。

福祉避難所とは

福祉避難所、今まででは災害弱者を守れないと

— 平成28年第2回幸手市議会 —

福祉避難所の利用対象者は

身体等の状況が特別養護老人ホームや、老人短期入所施設等へ入所するには至らない程度の者。具体的には、

高齢者、障がい者その他、妊娠産婦、乳幼児、病弱者等、

避難所での生活に支障をきたすため、避難所生活において何らかの特別な配慮を必要とする者、及びその家

族まで含めて差し支えない。

なお、特別養護老人ホームや老人短期入所施設等の入所対象者は、それぞれ緊急避難所の対象者とはしていな

い。適切に対応されるべきであるため、原則として福祉避難所の対象者とはしていな

問 福祉避難所は市民に認識されているのか。
答 平成27年2月に指定、二次避難所なので積極的に周知していない。地震ハザードマップや洪水ハザードマップに、福祉避難所を記載したが、認識は低いと考える。

問 福祉避難所に備蓄を図ると通達が来ていると思う
答 ガイドラインには、必要な器材を置くように、避難所には応急的に必要な食料、飲料水、生活必需品等を備蓄することが望ましいという通知も来ている。早く設置をしていただきたいと考えている。

問 民間施設の協力は。
答 民間施設でも受け入れをしていただけるように、協定等を結んで、協力を仰対象者やその家族に対し周知していきたい。

問 私は思う
答 今年は、避難所開設訓練が実施される予定です。(前回の私の一般質問による成果) 福祉避難所は二次避難所とはいえ、要支援者の避難場所です。対象者は、身体障がい者、精神障がい者、高齢者、人工呼吸器や酸素供給装置等を使用している在宅の難病患者、妊産婦、乳幼児、病弱者、傷病者。

問 福祉避難所ならではの備蓄はしているのか。
答 二次的避難場所なので、備蓄品は備えていない: ウエルス幸手に一括備蓄。

問 避難所の整備と対象者の把握を! みんなの協力がなければ救えないのでです!
答 だからこそ、早急に福祉避難所の整備と対象者の把握を! みんなの協力がな

子どもの貧困を 救う子ども食堂

幸手市においても貧困家庭に育っている子どもは、増加していると認識している。

生徒児童数(人)	就学援助制度利用者数(人)	割合(%)
平成24年	3,648	621
平成25年	3,607	641
平成26年	3,569	679
		17.02
		17.77
		19.02

答問

幸手の子どもの貧困率

幸手市の貧困率のデータは持っていないので、小中学校の生徒児童数に対して就学援助費を受けている生徒児童数の割合から示す。

国の子どもの貧困率は?
平成12年↓14・6%
平成24年↓16・3%

年間244万円以下の世帯
年間177万円以下の世帯
4人世帯(両親子ども2人世帯)

6人に1人の子どもが貧困状態といわれる。
貧困状態の物差しは社会の標準的な所得の半分以下の所得しかない世帯。
2人世帯(親1人子1人世帯)

市の施策は

生活保護世帯と生活困窮世帯の中学生と高校生を対象に、教育専門員による学習支援や、教育支援員による進路相談等、家庭訪問、親への支援として情報提供を定期的に行っている。



私は思う
幸手には公民館があり、それは地域の拠点です。その公民館を使い、子どもたちに限りず、1人暮らしのお年寄りなども含めた地域コミュニティの場として、幸手子ども食堂が必要です！



深夜も安心！ついにAEDがコンビニへ



公共施設に設置されたAEDは、夜は閉まつていて使えない。不安なのは夜だつたり、深夜だつたり。そこで気づいたのは、夜でも深夜でも明るいコンビニ、自然に場所を覚えているコンビニでした。大切な命を守るために、何度も議会一般質問に取り上げ、提案し続けました。そして皆様のお陰で、コンビニのAED設置の実現となりました。誠に有難うございます！

また、前号臨時増刊の為、37号が遅れてしまつたこと、改めてお詫び申し上げます。これからも、市民目線を大切に活動して参ります。どうぞご支援の程よろしくお願ひ致します。本田よしこ